

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-513702(P2007-513702A)

【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2006-543960(P2006-543960)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/58

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月7日(2007.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リトラクタシステムであって、

(a) 閉位置および開位置をもつリトラクタ本体を備え、前記閉位置は、閉じたりトラクタ本体を、引っ込めるべき領域内に容易に配置するための実質的にリニアな形態を呈し、前記開位置は、前記引っ込めるべき領域での対応する隣接した椎根間の距離より大きい、極く僅かだけ大きいような作業領域を形成し、前記リトラクタ本体は 2 つの細長チャンネルを備えており、さらに、

(b) 前記対応する隣接した椎根の各々に取付けるための 1 対の茎ねじと、それぞれの茎ねじと多軸係合する 1 対のガイド部材とを備え、前記ガイド部材は、それぞれの茎ねじと多軸係合しており、前記ガイド部材は、前記茎ねじの長手方向軸線に対してコーンを形成する一定の移動範囲を有し、前記ガイド部材の各々は、リトラクタ本体の対応するチャンネルを通ることができる十分な長さを有し、前記ガイド部材の各々は、リトラクタ本体に関連する茎ねじの端部の上に進めるのに使用する関連する取付け部材を備え、

(c) 前記リトラクタ本体は、閉位置から開位置へと移動して、開位置において前記作業領域を完全に包囲することを可能にするリビングヒンジを備えており、前記リトラクタ本体の周囲部分は、閉位置および開位置の両方の位置において実質的に同じである、ことを特徴とするリトラクタシステム。

【請求項 2】

リトラクタが開位置にあるとき、作業スペースの底を横切るウェブを更に有し、前記ウェブは、所望領域では除去できる材料であるが、好ましくない組織が他領域の作業スペース内に侵入することは防止できる材料で形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のリトラクタシステム。

【請求項 3】

手術領域内の解剖学的組織を引っ込めるのに使用できる材料で形成された少なくとも 1 つのフィンガを更に有することを特徴とする請求項 1 に記載のリトラクタシステム。

【請求項 4】

リトラクタシステムであって、

(a) 閉位置および開位置を有するリトラクタ本体を備え、前記閉位置は、閉じたりトラクタ本体を、引っ込めるべき領域内に容易に配置するための実質的にリニアな形態を呈

しており、前記リトラクタ本体は2つのチャンネルを有しており、さらに、

(b) 椎根に取付けるための1対の茎ねじと、

(c) それぞれの茎ねじと多軸係合する1対のガイド部材とを備え、前記ガイド部材は前記茎ねじの長手方向軸線に対してコーンを形成する一定の移動範囲を有しており、前記ガイド部材の各々はチャンネルを貫通している、
ことを特徴とするリトラクタシステム。

【請求項5】

リトラクタシステムであって、

(a) 閉位置および開位置をもつリトラクタ本体を備え、前記リトラクタ本体の周囲部分は、閉位置および開位置の両方の位置において実質的に同じであり、前記リトラクタ本体は、前記開位置と前記閉位置との間で移動できるようにする複数のヒンジを備え、前記リトラクタ本体は2つのチャンネルを有しており、さらに、

(b) 椎根に取付けるための1対の茎ねじと、

(c) それぞれの茎ねじと多軸係合する1対のガイド部材とを備え、前記ガイド部材は前記茎ねじの長手方向軸線に対してコーンを形成する一定の移動範囲を有しており、前記ガイド部材の各々はチャンネルを貫通している、
ことを特徴とするリトラクタシステム。

【請求項6】

前記リトラクタ本体は、単一ピースで形成されることを特徴とする請求項5に記載のリトラクタシステム。

【請求項7】

前記リトラクタ本体の少なくとも部分は、実質的に平らであることを特徴とする請求項4に記載のリトラクタシステム。

【請求項8】

前記リトラクタ本体は、リビングヒンジを備えることを特徴とする請求項4に記載のリトラクタシステム。

【請求項9】

前記リトラクタ本体は、リトラクタ壁を有することを特徴とする請求項4に記載のリトラクタシステム。

【請求項10】

前記リトラクタ本体は、さらに、フレームを備えることを特徴とする請求項4に記載のリトラクタシステム。

【請求項11】

前記リトラクタ本体の少なくとも部分は、実質的に平らであることを特徴とする請求項5に記載のリトラクタシステム。

【請求項12】

前記リトラクタ本体は、さらに、フレームを備えることを特徴とする請求項5に記載のリトラクタシステム。

【請求項13】

リトラクタシステムであって、

(a) リトラクタ本体を備え、前記リトラクタ本体は、閉位置および開位置を有しており、前記開位置は、引っ込めるべき領域での対応する隣接した椎根間の距離より大きいような作業領域を形成し、前記リトラクタ本体は2つの細長チャンネルを備えており、さらに、

(b) 前記対応する隣接した椎根の各々に取付けるための1対の茎ねじと、それぞれの茎ねじと係合する1対のガイド部材とを備え、前記ガイド部材の各々は、リトラクタ本体の対応するチャンネルを通ることができる十分な長さを有しており、

(c) 前記リトラクタ本体は、閉位置から開位置へと移動して、開位置において前記作業領域を完全に包囲することを可能にするリビングヒンジを備えており、前記リトラクタ本体の周囲部分は、閉位置および開位置の両方の位置において実質的に同じである、

ことを特徴とするリトラクタシステム。

【請求項 1 4】

前記リトラクタ本体は、さらに、フレームを備えることを特徴とする請求項 1 3 に記載のリトラクタシステム。

【請求項 1 5】

前記ガイド部材の断面積は、それに対応するチャネルのサイズよりも実質的に小さいことを特徴とする請求項 1 3 に記載のリトラクタシステム。

【請求項 1 6】

さらに、ロック機構を備えることを特徴とする請求項 1 3 に記載のリトラクタシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ガイド型リトラクタシステム